

## 県外派遣報告書

|   |                      |                |           |
|---|----------------------|----------------|-----------|
| 審判員名（報告者）   | 村上 翔                 | 所 属            | U12 カテゴリー |
| 大会名   | 第78回国民スポーツ大会関東ブロック大会 |                |           |
| 期 間   | 2024年 8月 24日 ~ 25日   |                |           |
| 会 場   | 富士北麓公園体育館、鐘山総合体育館    |                |           |
| ス ケ ジ ュ ー ル   |                      |                |           |
| 期 日   | 内 容                  | 場 所            |           |
| 8月 20日  | 審判会議、研修会             | ZOOM 会議 参加者自宅他 |           |
| 8月 24日  | 大会1日目                | 富士北麓公園体育館      |           |
| 8月 25日  | 大会2日目                | 鐘山総合体育館        |           |
| 審判会議、研修会 講義内容   |                      |                |           |
| <p>▶レクチャー テーマ：プレゼンテーションについて</p> <p>○佐藤 浩太 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションといっても、様々なことに意識をすることができる。</li> <li>→立ち振る舞い、姿勢、目線、移動する時にどちらの足から一歩目を踏み出すかなど</li> </ul> <p>○千葉 美幸 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メラビアンの方則から、見た目が大切である。髪型や服装などの身だしなみに気を付ける。</li> <li>・プレゼンテーションにおいて、デリバリー、メリハリ、大きく、正しく行うことが大切である。</li> <li>・相手(プレイヤー、TO)に伝わることが重要なので、ベーシックを大切に伝える意識を持つ。</li> </ul> <p>○内野 翔太 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試合中のコールには、ルールに沿っていることを大前提に多方面から求められるコールがある。</li> <li>ルール通りの正しいコール→ゲームコントロールとして必要なコール→選手やベンチがほしいコール→観客が欲しいコール</li> <li>→試合が面白くなるコール</li> <li>・受け入れ方は人それぞれであり、自分たちの役割や個性を客観視して、必要なコールとプレゼンテーションを行っていく。自分がどのように見られていて、どのようにしていくことで受け入れられるのかを考えていく。</li> </ul> <p>○渡邊 整 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持っている力を最大限に発揮することが重要であるが、すぐにできることだけではない。</li> <li>・判定を磨いていく中では、プレイヤーやチームが「何をしたいのか」「何をさせたくないのか」を分析することが大切である。その中で、判定の発信力や見ている人にどう伝わるかを考え、根拠をもっていくことが重要である。</li> <li>・多くの試合を生で見ることにより、コミュニケーションなどの現地でしか見られないものを吸収することが成長につながる。</li> </ul> |                      |                |           |

| 担当試合①   |                               |
|---|-------------------------------|
| 期 日   | 8月24日(土) 少年男子 1回戦             |
| 対戦カード   | 東京都 vs 栃木県                    |
| ク ル -   | CC:小澤 朋克 氏(群馬) U2:白澤 健斗 氏(山梨) |
| ミーティング内容  | 審判主任:茂泉 圭治 氏(神奈川)             |
| <p>▶ミーティング</p> <p>第1試合であったが、クルーで協力し、落ち着いて試合を運営することができた。また、クルーでも4Qでの試合展開が変化した時間帯にも対応することができた。個人的な課題としては、速攻でリードの際に判定に参加すべきケースがあった。実際には、センターが判定をしたが、リードのプライマリとして決断していきたい。他にも、インパクトのある触れ合いとしてコールしたものを、影響まで見極めてマージナルとして判定することも選択肢に考えていきたい。</p>   |                               |
| 担当試合②   |                               |
| 期 日   | 8月24日(土) 少年男子 敗者戦             |
| 対戦カード   | 千葉県 vs 神奈川県                   |
| ク ル -   | CC:濱 雄介 氏(東京) U2:山本 恵一 氏(山梨)  |
| ミーティング内容  | 審判主任:内野 翔太 氏(群馬)              |
| <p>▶ミーティング</p> <p>試合の中でベンチコントロールが中途半端になってしまった。試合を通して、メリハリのある対応を徹底していく必要がある。レクチャーにもあったように、自分がどのように見られているのかの分析が必要である。その中で、どのようにプレゼンテーションを行なっていかを考えていく必要がある。</p>   |                               |
| 担当試合③   |                               |
| 期 日   | 8月25日(日) 成年女子 準決勝             |
| 対戦カード   | 山梨県 vs 千葉県                    |
| ク ル -   | CC:竹澤 友美 氏(埼玉) U1:武井 晋平 氏(栃木) |
| ミーティング内容  | 審判主任:千葉 美幸 氏(東京)              |
| <p>▶ミーティング</p> <p>クルーで気になるプレーヤーや現象を共有しながら、進めることができた。クロック管理を積極的に気にして行う中で、タイムアップの成立のさせ方、タイミングなどへより細かなこだわりをもって取り組む必要がある。トレイルの際に止まってプレーを見ていることが多いが、細かなポジションアジャストや予め動いて判定の準備をできるようにしたい。</p>  |                               |
| 全体の感想   |                               |
| <p>はじめに、今大会の開催にご尽力いただきました山梨県協会の皆様、派遣していただきました埼玉県協会の皆様に感謝申し上げます。</p> <p>大会へ参加させていただき、レクチャーにあったようにプレゼンテーションについて深く考える機会となりました。他者からどのように見られていて、自分自身がどのようにプレゼンテーションをすることが周囲に伝わりやすいのかということを考え、今後取り組みたいと思います。また、他にも一歩目をどちらから出すのかなど、改めて1つ1つにこだわりを持って活動していくことの重要性を感じました。</p> <p>今回の経験を今後の活動に生かしていくと共に、還元できるよう精進して参ります。</p> |                               |